



# 感性に響くものづくりで 和紙の魅力伝える



ロクタ紙ノートを手にする代表取締役の上村哲弘さん



## 上村紙株式会社

代表者／上村 哲弘  
住 所／京都市下京区六条通烏丸東入  
    仏具屋町 164  
T E L／075-343-7500  
http://uemurakami.jp

事業内容／紙及び紙製品の製品卸・小売、  
    巡拝軸製造卸

### お客様に寄り添う御用聞きで 埋もれた需要を掘り起こす

たとう紙や札紙など和装関連を中心に、御集印帳や経本、販促チラシ、DM、文具など、多種多様な紙製品を取り扱っている。「御用聞きに徹している」と代表取締役の上村哲弘さん。京都市内約300社、市外約500社ある得意先を、専任の営業担当者が月に150回以上訪問。「いつか」「そのうち」と、すぐに注文につながらない案件も少なくないが、お客様の潜在ニーズを敏感に感じ取り、購買意欲を掻き立

てるデザイン、素材、商品等を自ら提案することで、「それなら…」と埋もれた需要を掘り起こして受注に結びつけている。

「今までにない写経用紙を作りた」という要望に対して、越前の手漉き職人と共同で、ほんのり薄桃色に染まった美しい和紙を開発。モダンな色使いが魅力で、若い世代のファン獲得につながった。豊富な和紙の知識に加え、全国に広がる仕入先ネットワークや伝統的な職人技術などを組み合わせ、お客様のこだわりを具現化するものづくりを実践している。

## BtoBからBtoCまで 強みの展開で 顧客のすそ野を拡大

創業当初は和装業界のお客様に特化していたが、市場が縮小する中で「私たちの強みをどこで生かせるかを考えた」と上村さん。例えば友禅作家がたとう紙に描きおろした源氏物語五十四帖の絵など、今まで培ってきた和のデザイン力を異業種に活用することで、食品の包装紙や袋、パッケージなど新たな市場で受注を拡大してきた。

京商の「国内販路開拓支援事業」にも積極的に参画し、和紙にチエツク柄をプリントしたノートやメモ帳、和紙のファイル、ケース付の一筆箋など、現代のライフスタイルにマッチした商品を開発。京都文化博物館内のアンテナショップ「楽紙館」で販売するなど、和紙の魅力を幅広く発信している。「BtoBからBtoCまで、お客様のすそ野を広げていきたい」と意気込みを語る。

## オリジナルブランドを 磨き上げ市場競争力のある プロダクトを発信

3年前には、自社オリジナルブランド『京都烏丸六七堂』を立ち上げた。



貼り絵の手法を使い表現する和文具ブランド「京都烏丸六七堂」



紙の世界と魅力を伝える紙の専門店「楽紙館」



和装関連で使われるたとう紙



### ★ Point.1 御用聞きを生かす顧客管理システム

どんな商品を、いつ、いくらで、どれくらい受注したのか、過去20年に渡って細かくデータベース化し、社内で共有。「10年前のあの商品を…」という要望に対しても、クイックレスポンスで対応することが可能に。

### ★ Point.2 和のデザインノウハウを蓄積

社内外のデザイナーの感性を取り入れ、源氏物語をモチーフにした絵や四季の美しい情景など、和を感じさせる1000点以上のデザインを作成。和菓子業界など、異業種に展開することで新たな市場開拓につなげる。

### ★ Point.3 豊富な和紙の知識と仕入先ネットワーク

創業以来、全国52の和紙産地、215社の仕入先と信頼関係を構築。強みである豊富な和紙の知識と幅広い素材選択、職人の技術力を組み合わせ、お客様のニーズにぴたりと叶うものづくりを行う。

「価格以外の新たな価値を発信できないか」と上村さん。日本の四季や懐かしい風景をモチーフにした絵に、切り取った和紙を一枚一枚手作業で貼りつけた商品が人気で、和雑貨を中心に20〜30種類を揃える。膨らませると表情豊かな犬や猫、金魚が現れる紙風船、おみくじが楽しめる張り子など、外部のデザイナーとコラボし、鋭敏な感覚や感性を取り入れ、愛らしいだけでなく、使ってみてわくわくするような遊び心あふれるアイテムに仕上げた。インバウンドの観光客にも人気で、百貨店やセレクトショップなど新たなステージで販路拡大を進めている。

和紙の温もりを一品一品のプロダクトに込めて…。私たちの琴線に触れるものづくりへの思いが、そこにはある。

**応援  
します!** 経営革新・知恵の経営に取り組む企業のご相談にお応えします。  
【相談無料】TEL.075-341-9781  
中小企業支援部 知恵産業推進課